

◎おがのまち 議会だより

第58号

令和2年5月1日発行

発行/小鹿野町議会
編集/議会だより編集委員会
埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野89番地



Contents

| | |
|-------------------|-----|
| 3月定例会時 | ②～⑦ |
| 審議結果一覧 | ⑤～⑥ |
| 請願 | ⑥ |
| 意見書 | ⑦ |
| 一般質問一覧 | ⑧ |
| 一般質問（6名の議員の質問を掲載） | ⑨～⑪ |
| 議長交際費・フォトニュース | ⑫ |

小鹿野町クライミングパーク神怡館が完成し、3月25日に議員見学を行いました。4月1日に開館予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、開館を延期しています。

一日でも早く、町内外の皆さんにクライミングを楽しんでいただけるよう事態の終息を祈るばかりです。

令和2年度一般会計予算 74億3900万円を 原案可決



3月定例会町長提案説明の様子

第1回3月定例会

会期3月3日～10日

本議会では、条例の一部改正や令和2年度各会計予算など町長提出議案31件が上程され、慎重審議のうえ、すべての議案を可決しました。また、請願1件が採択され、議員発議2件も可決しました。

町政に対する一般質問では、7人の議員が登壇し、町政発展に向けての活発な議論がなされました。（一般質問は、9頁～11頁に掲載しています。）

令和2年度一般会計予算

一般会計では、前年度より3億1400万円増（4・4%増）の歳入歳出総額74億3900万円の予算案が提案されました。

主な施策

人口減少にもまけない
小さくても輝き続けるまち

- ・移住・定住促進事業の推進
- ・空き公共施設を活用したりリモートオフィス・テレワークを試行実施
- ・旧三田川中学校および周辺スポーツ施設の民間活用に向けての調査
- ・子育て支援金給付事業の継続（第3子以降50万円支給）
- ・転入者・新婚世帯への民間賃貸住宅の家賃補助の継続
- ・子育て世帯への住宅取得奨励金、定住促進奨励金制度の継続
- ・観光DMOの機能を持つ地域商社の設立

本町の自然や特性を活かした地域経済の創生

※DMOとは

観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協働して観光地域作りを行う法人のこと。

かがやく未来へおがの人づくり

- ・小鹿野町クライミングパーク神怡館の開館
- ・倉尾ふるさと館内に毘沙門水用の製水機の導入
- ・森林環境税譲与税を活用した倒木等の除伐整備
- ・幼保連携型認定こども園「おがのこども園」の開園
- ・義務教育課程における教材費、給食費の無償化
- ・小鹿野中学校の特別教室への空調設備工事の実施
- ・小鹿野文化センターの舞台設備等の改修
- ・ふるさと総合会館のタイルカーペット張替工事、館内LED化実施
- ・小鹿野高校を魅力ある高校にするための連携推進
- ・すべての世代に配慮された社会保障の充実
- ・プレーパーク実施団体、指導者育成の支援
- ・健康増進プログラム推進事業でフレイル対策の実施

※フレイルとは

加齢とともに、心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱化が出現した状態

快適で安心して暮らせる環境の整備

- ・長尾根トンネルの整備に関する要望活動
- ・町道の舗装・改良工事
- ・公共交通について、環境整備及び民間事業者との調整
- ・消防団員へ雨具の支給
- ・老朽化した消防車両2台の更新
- ・準中型車（3・5t）以上の消防車両を運転するための免許取得者への補助
- ・防災行政無線のデジタル化、戸別受信機の每户配布（昨年度からの継続事業）

●主な質疑●

地域商社事業費

予算額3088万円

Q この予算の内容と内訳について。

A 町の政策審議会からの答申を受けて行う事業です。主な経費としては、経営者を募集する際の選考にかかる専門家への委託料として約330万円、新たな経営者が経営計画を策定する委託料として300万円、経営者を支援するための経費として、地域おこし協力隊2名の委託料が800万円、同じく地域おこし企業人1名の派遣元の会社への負担金560万円。また、会

社設立にあたっては町からの出資金990万円を見込んでいます。

Q 今後のスケジュールについて。

A 新年度早々に経営者を募集し、その後、経営者は経営計画を策定し、スタート時点では国民宿舎両神荘を中心に運営を行っていただく予定です。将来的には、全ての観光施設等を新しい会社で運営をしていただければと考えております。

クライミングによる

まちおこし事業費

予算額1082万3千円

Q この予算の内容と内訳について。

A 神怡館を核としたクライミングによるまちおこし事業を推進していくための経費です。主な経費としては、アドバイザー経費として160万円、人件費として地域おこし協力隊1名、振興公社1名計850万円、連休時等繁忙期のアルバイト費用で約60万円の経費を計上しています。

関係人口創出推進事業費

予算額222万5千円

Q リモートオフィス・テレワークの試行実施はどの空き施設を

利用するのか。

A 国が推進しているテレワークを試験的に行うもので、場所としては旧長若中学校を予定しています。

公式ご当地キャラクター事業費

予算額383万5千円

Q 内訳とテーマソング、CD、PR動画の作製目的と効果について。

A 内訳としてはパネル、名刺等の需用費相当が2万5千円。着ぐるみのクリーニング代やCD著作権の手数料など役務費が15万円。四季を通じてのPRビデオ作製が100万円。貸し出し用として着ぐるみの2体目とマントや歌舞伎関連パーツで70万円、テーマソングCD（3バージョン）で60万円。商標登録業務委託で60万円。ラインナップ、ステッカー等のグッズ作製で60万円となります。

目的としてはCDやPRビデオを通じ町内外に親しんでいただき、子ども達に愛着を持っていただけるために作製をします。歌舞伎の町小鹿野を町内外にPRする効果も期待できますので、活用していきます。

【討論】

（要約）

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

地域商社について、公社の事業とクライミングの関係を会社に引き受けてもらうということですが、今の公社は組織として問題があると指摘してきました。命令系統もはっきりしていない。それが民間企業にすればできるという雰囲気が進んでいますが、私には理解できません。また水道関係について、当初の説明の趣旨とは異なり、町として支払うべき消火栓関係を除いても、令和2年度分をいれると、今までに一般会計から約8億円払っている。さらに一般会計から繰り出すことに懸念しています。また、庁舎建設とクライミングパークの進め方が一つ一つの過程を大事にしておらず、うまくいかないと考え反対します。

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

今、小鹿野町は少子化が一番の問題であり、親達が安心して子どもを産むことができるか、次の世代までこの地域の産業や教育を引き継いでいけるかということに大いに心を砕かなければならないと思います。しかし、庁舎建設の問題の議論に非常に時間を割かれて

きました。この場所に庁舎を作ることで進んでいます。旧三田川中学校で少ない金額である程度使えるものがありました。また、水道問題でも大型工事を次々にやれば次々に水道料金が値上げされ、危機管理上も問題だということが明らかになってきています。また、国民健康保険税について、全ての子どもの均等割りを免除していない点や町の施設使用料金の値上げについても問題がありますので反対します。

【原案に賛成】

1番 笠原 義行

令和2年度は、神怡館での新しい取組みや新庁舎建設や地域商社関連など前向きで大きな事業が動き出す重要な年度になります。そんな中、子育て支援、教育、社会福祉、観光事業、農業産業振興など様々な分野にもバランス良く事業展開を進めていると感じます。年々財政が厳しくなる中、一歩一歩確実に前に向かって歩いていく、強い思いが伝わってくる予算案だと感じました。ただし、最小の経費で最大の効果という点において、疑わざる点もありました。高額な委託料を払わなくてもできそうなことや、廃止する事業等、職員への知恵を絞ればまだまだできること

はあるのではないかと感じました。その点について職場内で議論し、真剣に考えていくことを期待し賛成します。

【原案に賛成】

2番 高橋 耕也

本一般会計予算は財政事情が厳しい中、3億円強の増額となっており、緊急度の高い災害復旧などには細かな所まで対応されているものと考えます。新規事業では民間経営感覚で地域に眠っている魅力ある資源を稼ぐ力に変えるべく設立する地域商社事業やクライミングによるまちおこし事業では、山岳アウトドアの町の新しいイメージ戦略について大いに期待できます。農業政策や教育・福祉・生活インフラ等も現在のクオリティを保ちながら将来を見据えて新たなチャレンジをされています。地方交付税の合併算定替の激変緩和措置が終了し、地方交付税の減少が見込まれますが、ここ数年の財政収支や将来の財政負担を見てもおむね健全であると思います。借金返済がピークを迎えるであろう年度に向けて経常収支の安定した確保に留意しながらも、町民の要望に応えられるよう適正に執行されることを望み賛成します。

主な条例改正

・小鹿野町クライミングパーク神怡館条例の一部を改正する条例

クライミング競技やクライミングによるまちおこし事業について、町民をはじめ、より多くの方に認知してもらうために、利用料の減免規定を追加するものです。

●主な質疑

Q 具体的な予定について。

A 施設と競技の周知を目的に、6ヶ月という期間に限り町民は利用料金を無料（初回講習料1000円は必要）としていく予定です。また、町内の旅館等への宿泊客（町外の方）も初回は利用料金を減免していく予定です。

【討論】

（要約）

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

昨年の12月に制定して、まだ施行もされていないのに改正することは拙速です。クライミングパークそのものも当初から段階を一つ一つ踏んでいなくて拙速すぎる部

分がいっぱいあります。無料でお客を呼びたいという町長の気持ちは良く分かります。ですから、賛成はしたいんだけども制定されて施行もされない内の条例に賛成するわけにはいかないので反対します。

その他の議案

・新町建設計画の一部変更について

東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律の施行により、新町建設計画に基づく合併特例債の起債可能期限が5年間延長されたことに伴い、新町建設計画の一部を変更するものです。

●主な質疑

Q 「老朽化が進む庁舎については（中略）分散している機能を集約し」という部分が追加されているが、どのように集約するのか。

A 計画上では、具体的に何をどういうことを表現するものではありません。庁舎建設に向けて、分散している機能を集約するというところで、抽象的な表現となっています。

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

私は総体的にはこの総合計画には賛成です。しかし庁舎機能の集約については、一番極端な場合には、両神の支所そのものもなくなるという可能性も考えられるわけで非常に問題だと思います。倉尾、三田川、長若については小さな機能のある場所を置いて住民サービスに努めるべきだと申し上げたことでもあります。現段階では、はっきり分かっていないけれども、あらゆる機能を集約する可能性がある変更を認めるわけにはいかないの

【原案に賛成】

10番 加藤 喜一

昨今の情勢を見ますと、ある程度の財政を緊縮しながら、色々なものを町民の利便性を図るために行っていくかなければならないという現状があり、多少のことは集約していかないと町民の理解も得られないと思います。また、しっかりと一つの建物で機能が果たせるということも、今後新しい庁舎を

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

建てるうえで必要だと思いますので賛成します。

私も集約することに慎重に考えるべきだと思います。特に強調したいのが、文言に住民サービスの向上に努めますとありますが、集約すれば住民サービスが向上できるのかという問題があります。今の形より倉尾と長若の方にも数人ずつ職員を配置して住民サービスを行った方が良いという考えをもっています。この案からすると逆方向なのです。以上の理由から反対します。

工事請負契約について

- [工事名] 町道704号線災害復旧工事
- [施工箇所] 小鹿野町飯田地内 (落葉松)
- [請負金額] 2億9,778万2,100円
- [請負業者] 小鹿野町小鹿野1096番地1
株式会社山崎工務店
代表取締役 山崎 寿
- [契約の方法] 一般競争入札

予算・条例等の審議結果

(○は賛成、●は反対)

| 議案名 | 議員名 | 笠原義行 | 高橋耕也 | 高橋謙治 | 齋藤維 | 山中豊彦 | 猪野武雄 | 出浦正夫 | 眞下登 | 岩田和幸 | 加藤喜一 | 黒澤光司 | 強矢好光 |
|---|-----|------|------|------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|
| 小鹿野町印鑑条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町監査委員条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町の議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町町長及び副町長の給与等に関する条例及び小鹿野町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠席 | ○ | ○ | - | 欠席 |
| 小鹿野町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町両神ふるさと総合会館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町クライミングパーク神怡館条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ● | | ● | ○ | - | |
| 小鹿野町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町立養護老人ホーム条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町営住宅条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 小鹿野町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | - | |
| 令和2年度小鹿野町一般会計予算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ○ | - | ○ |
| 令和2年度小鹿野町国民健康保険特別会計予算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和2年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計予算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和2年度小鹿野町介護保険特別会計予算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和2年度小鹿野町浄化槽設置管理等特別会計予算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和2年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計予算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和2年度小鹿野町営国民宿舎事業会計予算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |

| 議案名 | 議員名 | 笠原義行 | 高橋耕也 | 高橋謙治 | 齋藤維 | 山中豊彦 | 猪野武雄 | 出浦正夫 | 眞下登 | 岩田和幸 | 加藤喜一 | 黒澤光司 | 強矢好光 |
|-----------------------------------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|
| 令和元年度小鹿野町一般会計補正予算（第6号） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和元年度小鹿野町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和元年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和元年度小鹿野町介護保険特別会計補正予算（第3号） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和元年度小鹿野町浄化槽設置管理等特別会計補正予算（第1号） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和元年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計補正予算（第1号） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 令和元年度小鹿野町営国民宿舎事業会計補正予算（第1号） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 新町建設計画の一部変更について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ○ | - | ○ |
| 工事請負契約の締結について（飯田地内 町道704号線災害復旧工事） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 公の施設の指定管理者の指定について（小鹿野町倉尾ふるさと館） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 地上デジタル放送の難視聴解消施策に関する請願書 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 地上デジタルテレビ放送の受信環境整備を求める意見書案 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 公立・公的病院の再編統合計画に関する意見書 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 議員派遣の件について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |

※ 黒澤光司議員は議長のため採決に加わっていません。

※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。

請願のゆくえ

○地上デジタル放送の難視聴解消施策に関する請願書

請願者 小鹿野町三山・河原沢テレビ共同受信組合 組合長 黒澤 巧
 小鹿野町藤倉地区テレビ共同受信組合 組合長 新井 幸男
 小鹿野町両神上薄テレビ共同受信組合 組合長 久保 栄一
 小鹿野町両神小森地区テレビ共同受信組合 組合長 衆 和夫

紹介議員 山中 豊彦 強矢 好光 眞下 登 笠原 義行 岩田 和幸 加藤 喜一 猪野 武雄
 齋藤 維 出浦 正夫

請願審査 12月定例会で総務常任委員会に付託され継続審査となった本請願は、1月15日に開催された本委員会において審査した結果、「採択すべきもの」と決定し、3月定例会（10日）において委員長が審査結果を報告しました。審議の結果、委員長の報告のとおり採択され、次の意見書を内閣総理大臣ほか関係行政庁に提出しました。

発議第1号 地上デジタルテレビ放送の受信環境整備を求める意見書

当町に存する4組合のテレビ共同受信施設は、30年ほど前、東京電力が高圧送電線を敷設した際受信障害が発生したため、補償として共同受信施設を設置しました。

その後、2011年7月のテレビ地上波デジタル化に伴いそれぞれ組合を設立しデジタル対応に改修した施設を東京電力から無償譲渡を受け自主運営を行ってきました。現在、いずれの施設も老朽化しており修繕費等の維持管理費が毎年増大し、高齢世帯も多くなっていることもあり各組合単独で施設を更新することが著しく困難な状況となっています。

テレビ放送は、日常生活で情報を得るため必要不可欠なものでありテレビを視聴できない住民が生ずることは近年頻発する異常災害時の緊急事態における情報収集の手段が遮断され地域住民の生命財産等に大きく影響を及ぼす恐れがあります。

よって国におかれましては、地上デジタル放送関係予算の着実な執行と合わせ、次の事項について格段の措置を講ぜられるよう強く要望します。

記

- 1 国の責任において、地デジ難視聴対策として、中継局の整備等を行い難視聴地域が解消されるよう格段の措置を講ずること。
- 2 デジタル中継局整備や難視聴地域の解消について、地方自治体の負担が過度とならないよう、放送事業者等の調整を図るとともに地方自治体の負担が生じる場合は支援策について拡充を図ること。
- 3 難視聴地域整備において、各地域の実情を把握し良好な受信環境の整備を図るとともに、都市部との情報格差が生じることのないように努めること。
- 4 電力会社が高圧送電線の敷設をした際に補償として設置した受信施設を地デジ対応に改修したものを無償譲渡された組合については、NHK共聴への移行が速やかに可能となるよう調整を図ること。
- 5 以上のような方策を講じて技術上受信困難な地域が存する場合、既に終了した地デジ難視聴対策衛星放送制度を復活するよう検討を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和2年3月10日

埼玉県秩父郡小鹿野町議会

議員発議による「公立・公的病院の再編統合計画に関する意見書」が提出され、全会一致で可決しました。

提出者 出浦 正夫

賛成者 猪野 武雄

齋藤 維

加藤 喜一

山中 豊彦

高橋 謙治

笠原 義行

高橋 耕也

可決された意見書は、内閣総理大臣ほか関係行政庁に提出しました。

発議第2号

公立・公的病院の再編統合計画に関する意見書

厚生労働省は昨年9月26日、市町村が運営する公立病院と日本赤十字社などが運営する公的病院1455のうち「再編統合について特に議論が必要」な病院として全国の424の病院名を公表しました。さらに本年1月17日には、病院名を修正、7病院を除外、約20病院を追加し、約440病院としました。リストに挙げられた病院は、「がんや救急医療など9項目の診療実績が少ない病院」と「競合する類似の病院が車で20分以内の場所にある病院」を対象にしたとしています。

そもそも、地方の公立・公的病院の診療実績は、地域の人口や年齢構成、その病院の置かれている地方の特性を抜きに画一的に論じられるものではありません。住民の中に診療ニーズがあっても、医師が確保できず、患者を受け入れられない実情もあるからです。山間地、豪雪寒冷地などの考慮もされず、車での移動時間を尺度にするのも不適切です。このような基準で公立・公的病院の再編統合を進めれば、今でも医療提供体制が十分に整っていない現状にある地域医療の疲弊にいつそう拍車をかけることは必至です。

病院名公表に対して全国知事会は「地域の命と健康を守る最後の砦である自治体病院が機械的に再編統合されるといふ住民の不安を招きかねない」「全国一律の基準により分析したデータだけで再編統合を推進することは適切でない」などの見解を發表しました。厚労省が開催した各地の説明会でも、病院側などから「病床を削減すれば住民にとって医療サービスが落ちる」「地方創生に相反する」などの声が相次いでいます。

このような声に対して厚労省は「機械的な対応はしない」「強制はしない」と繰り返しますが、公表した病院名のリスト撤回を求める声には、応じようとはしていません。さらに、対象病院の再編統合について議論を本格化させ、本年9月末までに結論を求める方針も変えていません。

地方自治体、住民や医療現場の声を置き去りにして、公立・公的病院の再編統合を無理に進めることに、道理はありません。

よって国におかれましては、再編整備の対象とした、病院名の公表を撤回するとともに、地方における公立・公的病院の医師・看護師の確保をはじめとする条件整備の援助強化を図ること、患者、住民、医療現場をはじめとする地域の実情を踏まえた公的医療供給体制の在り方について検討されるよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和2年3月10日

埼玉県秩父郡小鹿野町議会

1月23日

秩父広域市町村圏組合水道事業経営審議会答申について

2月17日

小鹿野町役場庁舎建設基本設計・実施設計業務委託について

令和2年度実施予定の主な事業について

まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について

2月25日

水道料金の統一について

3月9日

令和2年度当初予算について

それぞれの議題について、執行部より、これまでの経緯や現在の状況、今後の予定について説明があり、その後、質疑応答を行いました。



長年にわたり地方自治の発展と町民の福祉向上に尽くされた功績が認められ、それぞれ栄誉ある自治功労章を受賞されました。

全国町村議会議長会
自治功労章受賞
埼玉県町村議会議長会
自治功労章受賞

黒澤 光司 議長



全国町村議会議長会
自治功労章受賞

加藤 喜一 議員



埼玉県町村議会議長会
自治功労章受賞

岩田 和幸 議員



町政に対する一般質問

一般質問一覧 (質問順)

| | |
|---|---|
| <p>猪野 武雄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策に関して ・幹線道路の整備に関して ・水道料金統一改定に関して ・交通政策に関して ・入札契約事務に関して ・教育行政に関して ・有害鳥獣対策に関して | <p>齋藤 維</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育行政について ・除草について ・マイバイビー支援事業について ・公共交通について |
| <p>岩田 和幸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬師の湯について ・水道について ・町の政策について | <p>笠原 義行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の建設について ・観光事業について ・「かがやく未来へおがの人づくり」について ・子育て支援について |
| <p>高橋 謙治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団について ・小鹿野町ライミングパーク神怡館について ・新庁舎建設について ・エネルギー政策について ・企業版ふるさと納税について ・学校給食について ・子育て支援について | <p>出浦 正夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策について ・国保町立小鹿野中央病院について ・産業振興について ・障害者福祉について ・台風19号被害について <p>高橋 耕也</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査の現状と今後の取り組みについて ・防犯カメラについて ・林業の振興について ・特定農山村地域活動支援事業について ・遊休農地解消総合対策事業について |

○9～11ページに各議員から提出された一般質問の要約を記載します。

町政に対する一般質問

3月
定例会

「チームおがの」で 新型コロナウイルス感染症を克服し、 安心な毎日へ！」



猪野 武雄 議員

質 新型コロナウイルス感

染症が拡大中であり、パンデミックな事態を恐れる。また、子ども達は、突然の臨時休校で学年末の大事な時期を失っている。授業の確保などの対策が欠かせないが…。

答 不要不急な外出防止や

手洗いの徹底などの基本的な対応で蔓延を防ぎ、町民の不安の払拭に努める。また、子ども達に対しては、未履修部分が発生するが、これを宿題等ではカバーできないので、指導方法等を検討していく。

質 19号台風で被災した町

道や森林管理道の復旧状況は…。

答 町道704号線(落葉

松)を始め、町道53号線(坂戸橋)や町道467号線(長沢橋)などの復旧工事を発注予定若しくは発注済である。また、森林管理道「串脇線」は、今後、埼玉県が、治山事業として山腹崩落防止工事等を実施していくことになる。

質 水道料金の統一改定で、

来春以降、町民の負担が大幅に増えるが…。

答 本改定では、上げ幅を平均

均17・91%としているが、住民生活等への影響を考慮し、0・25%と圧縮したこと、5市町が各々の実態に応じた繰り出しが避けられない。また、町の本来の改定率は、26・20%であるため、受益者

答 令和2年度において、

移動弱者等に対するドアツードアによる足の確保策の進捗は…。

質 移動弱者等に対するドア

ツードアによる足の確保策の進捗は…。

答 交通空白地有償運送や乗

合タクシーの拡充による試験運行を行う。福祉有償運送では、車両を1台増やし5台で運行を行う。

質 買付物支援では、販売地

域の拡大や取り扱い物品の拡充などを事業者に要請していく。



高橋 謙治 議員

地域を活かした 未来計画を

質 現在少子化と高齢化が

同時進行している状況ですが、地域防災の要であります小鹿野町消防団について、今後どのように維持をしていくかなど、今後の方向性について伺います。

答 消防団員の減少を防ぐ

ため、新入団員の確保はもちろんのこと、災害時の後方支援等が期待される女性消防団員の確保にも努めます。また、消防団のOBの方等を対象にした一般団員と区別する

質 地域エネルギー需要量

として、金額換算で9億円ものお金が小鹿野町から外部に出ていっています。小鹿野町には森も多く、地産地消を進めると同時に省エネ・再エネを中心とした長期的なエネルギー政策を考えなければいけないと思いますが、

答 大至急考えていく必要

があると思っていますので、庁舎建設に合わせ、町のエネルギー政策についての計画を確立していくればと考えております。学校給食について、給食費が外に流出せず地域で循環する地産地消の学校給食推進は、顔の見える地域食材としての郷土教育と、農業振興に重要な役割を果たすと考えますが、今後どのように進めていくか見解を伺います。

答 地元産農作物を学校給

食に用いるためにはシステムの構築や、学校給食センターと町内生産者との間を取り持つ集配やコーディネーター役などの組織づくり・人材育成が必要となります。学校給食費が少しでも町内で循環できる仕組み作りなども含め、関係機関と連携を図りながら、農業振興と安全安心な学校給食が、一連の流れの中に位置づけられるよう取り組んでまいります。



公共交通の 利便性の向上について

齋藤 維 議員

質 公共交通の利便性向上について来年度以降に行う計画や課題について伺います。

答 町には、町と民間事業者が実施する交通手段が複数ある中、特に移動弱者のドアツードアの拡充が主要な課題であります。バス路線のより効果的な運行経路等の検討や、同一の地域における路線バスと乗合タクシー、あるいは交通空白地有償運送等を導入する場合、二重投資的な交通対策に関する許認可や経費の課題もござります。全町的・一律に課題の解決ができない中、地域の実情と民間事業者との調整などを進めながら、取り組んでいかなければならないと考えております。

質 乗り合いタクシーが当

日予約が可能になって、登録されていない方でもスマホを通して利用ができるようになる、交通弱者の方々だけでなく、観光の方々への利便性の向上につながり大変よいことです。より多くの方に利用していただく為にもどのように広報していくのか伺います。

答 町外の人々のPRには、町のホームページSNSでの発信、イベントや移住セミナーなどの機会等でのPRや、観光スポットにて周知の告知をしていきたい。

質 乗合タクシーの乗降ポイントが両神地内で4ポイント増えたとのことですが、両神地内へ運行エリアを広げることができないか、伺います。

答 現行の乗合タクシーは、



次代へ歩む 新小鹿野町の創造

笠原 義行 議員

質 新庁舎について地元業者は各分野において、どのように携わっていくのか。

答 小鹿野町役場庁舎建設基本構想にも記載させていただきましたが、建設に当たり、町有林を使用することとし、木材の伐採、搬出、製材、乾燥な

小鹿野長若、伊豆沢地区と薬師の湯を結ぶエリアとなつていきます。両神地区ですと薬師の湯だけが乗降ポイントだったので、それが、それに加え医療機関・両神庁舎等の乗降ポイントとして増やすことを公共交通会議で承認していただきましたので、当面はエリアを増やすというところではなく乗降ポイントを増加ということでは、利便性を上げていきたい。

質 どの業務が地元秩父地域の業者が関わっているものと考えています。また、施工にあたって、特殊な技術や設備が不要な在来工法を用いることにより、地元業者が参加しやすくなるとともに、将来の修繕についても地元業者が庁舎に関わっていただけるものと考えています。

子育て支援について

質 総合振興計画にもある、病児、病後児保育の整備についての検討状況、また今後どのように検討を進めていくのか。

答 「おがのこども園」が開設するに伴い、小鹿野保育所に空き保育室が生じます。その空き保育室を病後児保育専用室として整備、活用することで、急性期を経過した回復期にあるお子様をお預かり

する病後児保育事業の検討を進めてまいりたいと考えています。

今年度につきましては、幼保連携型認定こども園の開設や幼稚園と保育所の統合作業に忙殺され、病後児保育事業の具体的な検討にまで至りませんでした。来年度は、小鹿野保育所の看護師等を中心に保護者ニーズや課題等を整理し、事業実施にむけた具体的な方向性が示せるよう担当課に指示しているところでございます。

質 今後、子育て支援のさらなる拡充について、具体的な支援策等は考えていますか。

答 保護者の皆様が安心して子育てや家庭教育ができるよう、家庭教育の大切さを社会全体で考え、支援していくことが重要です。町では来年度事業として、子育て中の保護者が抱える悩みや不安などに寄り添い支援するプログラム研修の実施を計画しています。



新型コロナウイルス対策に万全を。学校一律休校にともなう問題解決を。

出浦 正夫 議員

質 新型コロナウイルス感染症対策について伺います。

答 町では、2月21日「小鹿野町新型コロナウイルス対策会議」を各課所長・病院長で開催し、対策を協議しました。町民に対して手洗い・マスク着用を周知していきま

質 防護セット・陰圧式工アテント・陰圧可能病室・人工呼吸器の保有、受け入れ準備状況について伺います。

答 3月3日現在、全国で268名、埼玉でチャーター便で帰国した4名が感染しています。医療用防護服セットは260着保有、陰圧式テントは防災基地に保管してあります。陰圧可能病室は一室人工呼吸器は2台有ります。今後の事態に対応できるように努力していきま

質 現在の感染状況について伺います。国は、さらに感染拡大の場合には、一般病院でも感染者を受け入れてもらうとしています。その際の小鹿野中央病院の受け入れ準備について伺います。感染者受け入れに必要な医療用防

質 学校は、国の要請に基づき、休校となりましたが、秩父郡市では感染者がいけないので早期に再開すべきと考えますがいかがですか。

答 休校措置は3月26日までですが、途中に登

校日を2回ほど設けようと考えています。

質 学校給食が突然休止したことにより、町内の食材納入業者が多大な被害を受けています。調理場職員でも仕事が無くなり困っている方がいます。対策を伺い

質 学校給食が突然休止したことにより、町内の食材納入業者が多大な被害を受けています。調理場職員でも仕事が無くなり困っている方がいます。対策を伺い

答 国に対し業者救済を求めるとともに町独自でも援助ができないか検討します。調理場職員についても調理器具の清掃・調理研修等の仕事を是非検討させてもらいます。



安心安全と未来の基礎を築くために

高橋 耕也 議員

質 地籍調査の現状と今後の取り組みについて。公共事業の円滑化、災害等の復旧、公租・公課等の負担の公平化、耕作放棄地対策、土地権利関係の明確化を進めるうえで必要不可欠な事業だと思われませんが、見解をお伺い致します。

質 額にならず事業量を調整しております。

質 防犯カメラについて。犯罪抑止や安全安心のまちづくりの観点から防犯カメラの設置・運用の必要があると考えますが見解をお伺い致します。

質 防犯カメラの設置・運用についての犯罪抑止等の有効性があるものと認識しています。「小鹿野町防犯カメラの設置及び運用に関する要綱」を整備し、上一丁目交差点な

答 議員ご質問の通り有効な事業と捉えております。しかし、事業費負担国費50%県費25%町費25%の中で県からの内示額が満

らびに北裏通り交差点に1台ずつ設置する予定です。さらに2台の予算も予定しております。

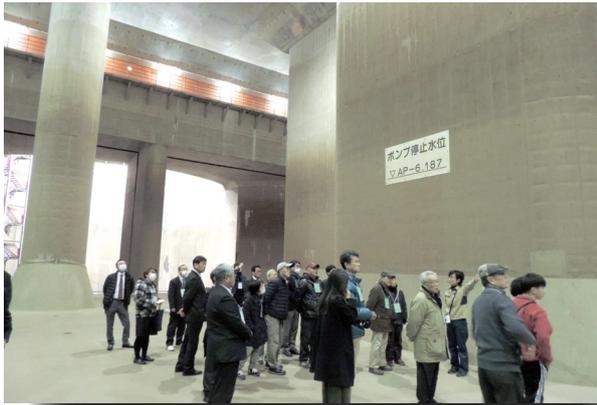
質 林業の振興について。森林サービス産業について現状をうかがいます。

答 森林サービス産業につきましては、森林空間を活用して外から人を呼び込む新たなサービス産業として注目されております。町には四季の道・四阿屋山など里山ハイキングコースもありますので、

質 特定農山村地域活動支援事業について。両神花卉共進会などに対する活動支援により、町の特産品のブランド力向上を図るためには、どのように取り組んでいくのかお伺い致します。

答 さらに情報発信を行っていきながら、インターネットの活用セミナー等を開催してご支援してまいります。

フォトニュース



◆秩父地域議長会正副議長・事務局長合同研修◆

＝ 1月21日（首都圏外郭放水路）＝
防災対策への視察研修として、首都圏外郭放水路と埼玉県危機管理防災センターを視察しました。



◆小鹿野高等学校主権者教育◆

＝ 2月10日（小鹿野高等学校）＝
主権者教育の一環として黒澤光司議長が「地方自治について」、「小鹿野町議会の組織と運営」について講演しました。

■議長交際費の公開■ 令和2年1月～3月

| 月日 | 会議名等 | 金額 |
|------------|----------------------------|---------|
| 1月4日 | おがのシルクロード商店会新年会 | 5,000 |
| 1月7日 | 豊かな埼玉をつくる県民の集い2020新年賀詞交換会 | 15,000 |
| 1月7日 | 秩父郡市医師会新年会 | 5,000 |
| 1月11日 | 小鹿野町体育協会新年会 | 5,000 |
| 1月12日 | 小鹿野町消防団新年懇親会 | 15,000 |
| 1月17日 | JAちちぶ新年祝賀会 | 5,000 |
| 1月17日 | 小鹿野町スポーツ少年団新年会 | 5,000 |
| 1月18日 | 西秩父商工会新年会 | 5,000 |
| 1月20日 | 埼玉県町村議会議長会議長視察研修会及び懇親会 | 7,000 |
| 1月24日 | 小鹿野子ども歌舞伎新年会 | 3,000 |
| 1月28日 | 小鹿野町国際交流協会2020新春懇談会 | 3,000 |
| 1月31日 | 交通死亡事故抑止3000日達成感謝状贈与式及び懇親会 | 5,000 |
| 2月3日 | 県北地域町村議会議長視察研修会及び懇談会 | 6,000 |
| 2月9日 | 小鹿野歌舞伎保存会新春懇親会 | 3,000 |
| 2月13日 | 小鹿野町老人クラブ連合会新年会 | 5,000 |
| 2月28日 | 慶弔規約に基づく議員入院見舞金 | 10,000 |
| 3月5日 | 慶弔規約に基づく議員実父告別式香資料、生花料、弔花代 | 19,400 |
| 小計 | | 121,400 |
| 令和元年度 支出合計 | | 263,400 |

議会の傍聴をしませんか！

町の議会は、年4回の定例会（3月・6月・9月・12月）と、必要に応じて臨時会が開かれます。町政の動きを知るためにも、気軽に傍聴してください。

次回定例会は、6月中旬開催予定です。
※小鹿野文化センター・両神庁舎・両神ふるさと総合会館のテレビモニター中継もご利用ください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。ぜひ、ご利用ください。

右のコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。



訂正とお詫び

おがの議会だより第57号（2月1日発行）の5ページ「予算・条例等の審議結果」において眞下 登議員が全て「○」となっていました。正しくは「欠席」でした。訂正してお詫びいたします。

編集後記

春のうらかな季節のはずなのに新型コロナウイルスの襲来で『緊急事態宣言』が出てしまいました。
心安まらない日々が続いています。小鹿野町でも国や県の要請を受け町民の皆様が感染しないように必死の努力を続けています。普通のあたり前の暮らしがどんなにありがたいか身にしみます。

検診体制も入院施設の確保もままならない中で、町民の皆様には一層の自己管理をしていただき一人の感染も起さないようにご協力をお願い申し上げます。

▼議会だより編集委員会

委員長 高橋 謙治
副委員長 山中 豊彦
委員 高橋 耕也
委員 加藤 喜一
委員 黒澤 光司
委員 猪野 武雄